

東京海上日動および ABT と連携し、国内初のアクリル樹脂回収スキームを構築

～ケミカルリサイクルの事業化に向けた実証実験を開始～

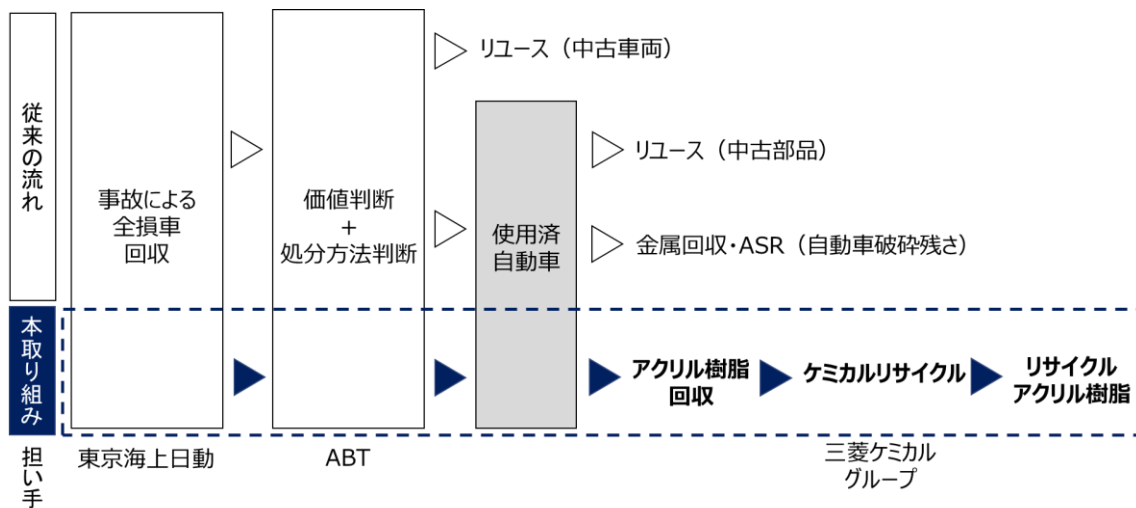
三菱ケミカルグループ^{※1}（以下「当社グループ」）は、アクリル樹脂ケミカルリサイクルの事業化に向け、東京海上日動火災保険株式会社（本社：東京都千代田区、取締役社長：広瀬 伸一、以下「東京海上日動」）および株式会社 ABT^{※2}（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤本 忠、以下「ABT」）と共同で、使用済自動車からアクリル樹脂を回収するためのスキームについて実証実験を開始することをお知らせいたします。



アクリル樹脂は自動車のテールランプ等に使用されている

当社グループは、世界有数のアクリル樹脂メーカーであり、製造のみならず廃棄・回収されるアクリル樹脂をケミカルリサイクルして再利用する事業の本格化に向けて取り組んでいます。東京海上日動は自動車保険業を運営する中で、自動車事故等による保険金のお支払いに伴い多数の使用済自動車を取得しています。ABT は東京海上日動から委託を受ける形で、全国各地の解体業者とともに使用済自動車のリユース・リサイクルを含めた適正処理を行っています。

当社グループ、東京海上日動および ABT は、東京海上日動および ABT が持つ使用済自動車処理のネットワークを活用し、テールランプ等のアクリル樹脂を回収するスキーム構築を目指します。まずは、2023年3月から関東地区において、1000台ほどの使用済自動車からアクリル樹脂を回収する実証実験を開始いたします。実証実験を踏まえて、オペレーション・素材の品質・コスト等の検証を行い、2024年度にも全国ネットワークでの取り組みに拡大していくことを目指します。自動車保険のネットワークを活用して使用済自動車からアクリル樹脂を回収する試みは国内初の取り組みとなります。



当社グループでは、マイクロ波を使ってアクリル樹脂をリサイクルする実証実験を行っており、2024年度のリサイクルプラント稼働開始を視野に、アクリル樹脂ケミカルリサイクルの事業化を目指しています。リサイクル技術の確立と並行して、多方面の市場から回収するスキームの検討を行っていくことで、アクリル樹脂リサイクルシステムの社会実装に向けた準備を進めています。

※1：三菱ケミカルグループは、三菱ケミカルグループ株式会社とそのグループ会社を指します。

※2：株式会社 ABT は、中央自動車工業株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：坂田 信一郎）の100%子会社です。

ご参考

・2021年5月24日付プレスリリース「アクリル樹脂ケミカルリサイクルの事業化に向けた実証設備の建設および実証試験の実施について」

<https://www.m-chemical.co.jp/news/2021/icsFiles/afieldfile/2021/05/24/pmma.pdf>

以上

お問合せ先 三菱ケミカルグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション本部 メディアリレーション部 TEL：03-6748-7140
--